

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 里山林整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係 電話番号:058-272-1111(内3029)

E-mail: c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 150,000千円 (前年度予算額: 197,737千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	197,737	0	0	0	0	0	197,737	0	0
要求額	150,000	0	0	0	0	0	150,000	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成24年度から、林業活動では採算が合わないため放置されてきた里山林などを整備・活用・保全する目的で清流の国ぎふ森林・環境税を導入。
- ・野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や、生物多様性の保全を図るため、市町村等が実施する管理・整備に要する経費を助成。
- ・近年、住宅等に倒れる恐れのある危険木の除去や、野生鳥獣による被害の軽減のための森林整備のニーズが増加。

(2) 事業内容

【補助対象事業及び補助上限単価】

○危険木の除去タイプ(森林地域外を除く。)

補助上限単価: 必要経費積上げ額以内の額

(共通仮設費、間接費は国が定める率以内とする。)

○森林地域外危険木の除去タイプ

補助上限単価: 1,000千円/箇所(補助率2/3)

○バッファゾーン(緩衝帯)の整備タイプ

補助上限単価: 700千円/ha

・【拡充】維持管理に係るものは220千円/ha

【補助対象者】

市町村、森林組合等（森林地域外危険木の除去は市町村のみ）

（３）県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金対象事業

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	94	業務旅費
需用費	208	コピー代等
役務費	18	電話代、郵便代等
補助金	149,680	里山林整備事業補助金
合計	150,000	

決定額の考え方

４ 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－３ 地域にあふれる魅力と活力づくり

- (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信 - ②美しく豊かな環境の保全・継承
- (3) 農林畜水産業の活性化 - ③「100年先の森林づくり」の推進

- ・第3期岐阜県森林づくり基本計画

第7章 1 健全で豊かな森林づくりの推進

- (2) 森林の適正な保全（野生生物との共存）
- (3) 森林空間の利用の促進（里山林の保全・利用の促進）

（２）国・他県の状況

- ・平成15年度に高知県で導入されて以来、現在37府県で導入している。
- ・令和元年度より、国の森林環境譲与税が導入された。

（３）後年度の財政負担

課税期間である令和8年度まで税込に依り事業を実施。

（４）事業主体及びその妥当性

市町村、森林組合等が実施する里山林に対する管理・整備に要する経費を支援する制度。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	里山林整備事業補助金
補助事業者（団体）	市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人など （理由）広域的に森林整備等を実施するため
補助事業の概要	（目的）森林所有者等による持続的な森林経営が困難な森林を整備することで、野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全等を図る。 （内容）市町村森林整備計画の森林配置計画で「生活保全林」に指定された森林における、住宅等に倒れる恐れのある危険木の除去や、野生鳥獣による被害の軽減のための森林整備等を支援。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助対象経費の10/10以内の額。（森林地域外危険木の除去タイプは3分の2以内の額） （理由）里山林の公益的機能の維持増進を図るためには不可欠な事業であるため
補助効果	事業実施箇所周辺の住民等にアンケート調査を行った結果、高い満足度が得られている。
終期の設定	終期 令和8年度 （理由）清流の国ぎふ森林・環境基金事業のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

令和4年度から令和8年度までに70箇所の危険木の除去と40箇所のバッファゾーンの整備を支援する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R8)	達成率
①危険木の除去実施箇所数	0箇所	66箇所	/	70箇所	350箇所	%
②バッファゾーン整備実施箇所数	0箇所	48箇所	/	40箇所	200箇所	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	248,831千円	257,223千円	271,127千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年	実施市町村数：27 整備面積：309.68ha 施設整備：1箇所 既存施設の改修：6箇所 森林地域外危険木の除去：3箇所 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	要望が多く、補助金額は、危険木の除去（H29:111,705千円→R2:131,418千円）、バッファークーンの整備（H29:34,847千円→R2:63,912千円）とも年々増加傾向にある。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 2	地域住民の要望に対応した森林整備を進めることができおり、期待通りの成果が得られている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	危険木の除去や、バッファークーンの整備のニーズが増加しているため、侵入竹の除去等のメニューを廃止し、対象メニューを限定する。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 毎年、予算額以上の要望があり、すべての要望に対応できていない。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 高い県民ニーズや第三者機関の提言等を踏まえ、補助要件の改正等が必要な場合は対応を行う。</p>
